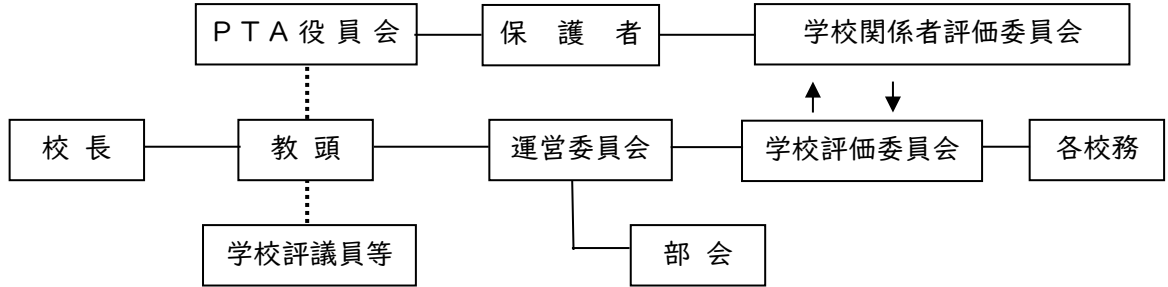


## 令和4年度学校評価 年度当初基準表（具体的方策と留意事項）

### (1) 学校評価のための組織



### (2) 学校評価の年間計画

時期	項目	会議等
前期	① 本年度の課題・重点目標の発表 ② 各部・分掌の重点目標、方策の立案、評価シート作成 ③ 全職員の共通理解 ④ P T A役員への学校評価の説明と協力依頼 ⑤ 保護者への説明 ⑥ 学校評議員会開催 ⑦ 教育活動の中間評価報告・方策の見直し ⑧ 評価の分析と中間報告のまとめ	職員会議 各部・校務分掌会 職員会議 P T A役員会 P T A総会 各部・校務分掌会 学校評価委員会
後期	① 学校評議員、P T A役員会へ中間報告 ② 保護者への報告 ③ 教育活動の最終評価 ④ 本年度のまとめと次年度の計画案づくり ⑤ 評価と分析、最終報告のまとめ ⑥ 全職員の共通理解 ⑦ 評価 ⑧ 次年度の教育計画の確定	学校評議員会、P T A役員会 個人懇談会、HP 部会、分掌会 部会、分掌会 学校評価委員会 職員会議 学校関係者評価委員会の開催 職員会議

### (3) 本年度の学校評価

重点目標	<p>1 本校の目指す子ども像「社会とつながり いきいき エンジョイ みよしっこ」を思い描いた授業づくりに向けた研修に取り組み、実践と評価を行う。</p> <p>2 正確な情報の収集と発信に努め、安全で安心な環境づくりを行う。</p> <p>3 各種会議や委員会の運営の在り方を考え会議の質を高めながら、働き方の改善につなげる。</p>		
項目	重点目標	具体的方策	留意事項
授業づくり	主体的・対話的で深い学びの視点で授業の実践と評価を行う。	<p>&lt;高等部&gt; 昨日より今日、もっといい授業のために準備や検討を密に行う。 各教科・領域において、新学習指導要領を踏まえつつ、カリキュラム・マネジメントを推進していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いろいろな先生（大人）、いろいろな友達の中で、自分らしく学び、力を伸ばせる子になろう」をテーマに、対話を重ねつつ具体的な改善を続ける。</li> </ul>
	部間のつながり、教科間のつながりを意識した教育課程について全職員で検討する。	<p>&lt;教務部&gt; 授業づくりを支える教務関係様式の活用方法や個々の教員に期待したいカリキュラム・マネジメントの方向性を示し、授業力の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務関係書類書き方講習会を今年度も新転任者対象と各部教員向けの2回実施し活用方法の理解を図る。</li> <li>・部会等の機会を利用し、個別の教育支援計画や個別の指導計画の具体例を出しながら、授業改善の視点からのカリキュラム・マネジメントの方向性を周知する。</li> <li>・教科等主任と協力し、年間指導計画の系統性や指導内容の改善を図る。</li> </ul>
		<p>&lt;研修部&gt; 「いきジョイ（校内研究）」に全校で取り組み、主体的・対話的で深い学びの視点に立った生活単元学習の授業について全教員で共に考え、学び合う中で、授業力の向上を図る。</p> <p>教員が部間のつながりを意識しながら、児童生徒一人一人の指導や支援について考え、実践できるようにサポートする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部、中学部、高等部の教員を交えた縦割りのチームを編成して進める。</li> <li>・研究テーマの基に全教員で共に考え、教員の気付きや主体的な学びを促進できるようなワークショップを10回計画し、実施する。</li> <li>・小学部、中学部、高等部、教務部等と連携を図り、ワークショップに反映させたり、いきジョイの内容を還元したりする。</li> <li>・互いに授業を見合う機会として、「部を越えた自由な授業参観」ができる期間を2回設定する。</li> <li>・教員のニーズに応じた研修会を実施し、それぞれの教員の強みを生かしたり、同じ課題をもつ教員同士をつないだりしながら学び合える場を設ける。</li> <li>・専門性の高い教員や外部講師と連携して研修会を実施し、教員の専門性の向上を図る。</li> </ul>
		<p>&lt;自立活動部&gt; 児童生徒の適切な実態把握につながる研修会を実施したり、よりよい支援方法の情報交換を行ったりすることで授業づくりの基盤を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の客観的な実態把握を行うためのアセスメントについての研修会を計画し実施する。</li> <li>・プロフィール表を活用して自立活動検討会を実施し、教員間の情報交換や共通理解を行う。</li> <li>・自立活動だよりや自立活動相談報告を通して、自立活動に関する情報を提供したり、教員の授業実践を紹介したりして、授業づくりを支える。</li> </ul>

安全で安心できる環境づくり	<p>正確な情報の収集と発信に努め、適切な感染症対策に取り組む。</p>	<p>&lt;小学部&gt; 1棟改修工事に伴い環境が大きく変わるため、危険箇所や避難経路等を把握し、学校生活を安全に送ることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物品移動や教室変更に際しては、学年主任、保健体育部教員と連携を図りながら、授業や学校生活全般で支障がないように立案する。</li> </ul>
	<p>事故や災害について一人一人が自分事として考え、緊急時への備えを図る。</p>	<p>&lt;教育工学部&gt; 校外向けホームページの整備を進め、学校の取組を発信し、安心できる学校のイメージを高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より活用しやすいホームページの方向性を研究し、内容や機能の更新を進めていく。</li> </ul>
	<p>児童生徒の豊かな生活の実現に向けて、関係機関と連携を図る。</p>	<p>&lt;生活指導部&gt; 緊急時の対応について、今までの対応を踏まえつつ検討を重ね、緊急時への備えを整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練の実施や情報収集を行い、本校としての災害時の対応について検討を続け、作り上げていく。</li> <li>不測の事態が生じた際にも、的確に対応できるようにマニュアルを整える。</li> </ul>
		<p>&lt;進路指導部&gt; 教員や保護者に向けて、進路に関する発達段階に応じた情報を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学部の教員に向けて、児童の具体的な進路先について、写真や動画を交えて分かりやすく伝え、児童の進路先についての知識を深める。</li> <li>中学部では進路説明会や進路情報連絡会などで、保護者の進路に関する意識を高めるため、卒業生の保護者に進路で経験したことを講演してもらう。また福祉サービス事業所について、基礎的な知識を伝える。</li> <li>高等部では、卒業後の進路について、写真や動画を交えて保護者に分かりやすく伝える。説明会に出席できない方にもホームページの動画を見て説明会の内容を確認できるようにする。</li> </ul>
		<p>&lt;保健体育部&gt; 児童生徒一人一人が健康に関する知識や感染症予防方法を身につけ健康的な生活を送ることができるようにする。 校内巡視を行い、危険箇所や不要物の確認、撤去し安全に学校生活を送れる環境づくりを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対策を全校で行う。児童生徒とともに換気やマスクの着用、手洗いと手指の消毒などの感染症対策を行う。</li> <li>校内を巡視し危険箇所等の確認を行い、修理・改善を行うとともに、校内にある不要物を撤去し安全で安心した学校環境づくりを目指す。</li> </ul>
	<p>&lt;自立活動部&gt; 児童生徒のニーズを適切に把握し、自立活動相談会を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門性の高い教員や、豊田市こども発達センターと連携し、自立活動に関する相談会を開き、具体的な支援方法を学ぶ機会を設ける。</li> </ul>	
	<p>&lt;教育支援部&gt; 児童生徒の支援において相談資源の活用を広げ、関係機関との連携を図る。 小・中学校、高等学校や市町のニーズを収集し、ニーズに応じたサポートや情報発信を進め、地域との協働体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談資源に関する情報を発信し、児童生徒、教員への支援に役立てる。</li> <li>他の校務分掌と連携しながら、校内支援体制を整理する。</li> <li>アンケートでニーズを調査し、相談活動を中心に支援方法に関する情報を提供する。</li> <li>調査したニーズを基に、来年度の各種研修会の内容を詳しく検討する。</li> <li>各種研修会等で、本校の専門性を生かした取組を発信するとともに、情報交換や情法共有を通して、協働体制を構築する。</li> </ul>	

働き方の改善	各種会議・委員会の目的と運営の在り方を考え、会議の質を高める。	<小学部> 効率的に業務を進めて、児童について話す時間や授業の充実に必要な時間を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度の標準授業時間数に対応した時間割編成に向けた話し合いの中で、有意義な時間の使い方について検討する。</li> <li>・各学年で効率的に業務を進めるために、各学年間での情報交換の場（学年主任者会）を設定する。</li> <li>・部会において、限られた時間の中での、会議の進め方について工夫する。</li> </ul>
	職場環境の整理整頓を行い、業務の効率化を図る。	<中学部> 教材研究、授業づくり、情報共有等の時間を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度に向けて標準授業時間数に対応した時間の使い方について検討する。</li> <li>・中学部の物品やサーバー内の整理を推進する。</li> <li>・部の仕事、行事の担当、学年内の役割、校務分掌の仕事など全体の仕事量を考慮して個々の仕事の配分を適正化する。</li> <li>・部内行事等の実施方法や仕事の進め方を見直し、改善する。</li> <li>・会議における議題提案や連絡の仕方について徹底し、適切な時間配分や円滑な運営の工夫をすることで会議時間の短縮と質の向上を図る。同時に各分掌とも連携し、進路講話や実践報告などの学びの場を設定する。</li> </ul>
	職員一人一人の生活や働き方を認め、支え合う職場づくりを進める。	<高等部> 部会を中心に効率的に必要な情報共有や意見交換ができる会議の運営方法を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種委員会、校務部会、学年会などとの連携を意識する。グループウェアなどを活用しつつ、会議の質を高め業務が着実に遂行できるようにする。</li> </ul>
		<総務部> 職員室内の文書及び物品の整理整頓を行い、物の位置や表示を改善することにより、仕事の効率化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員室内のロッカー等の整理整頓を行い、物の位置や表示等を改善する。また、文書データの整理整頓を行うことにより、仕事の効率化を図る。</li> </ul>
		<教務部> 個々の教員が必要なときに教務関係書類マニュアルや記入例等の情報を見られるよう情報源を増やし、必要な情報を手に入れやすい環境を整える。  資料作成の繁忙期の分散を狙った業務の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育工学部と連携し、最新の教務関係マニュアルのデータをみよしねっとから閲覧できるようにする。</li> <li>・教務関係書類の作成・活用に関わる情報をよりコンパクトにまとめ、Teams等のツールを利用して多くの教員が必要な情報を閲覧できるようにする。</li> <li>・年度初め、年度末に作成書類が集中しないよう、長期休業等を利用した書類作成のアナウンスや提出時期や次年度の業務軽減を見越した準備の情報などを見える化した資料作成と周知を行う。</li> </ul>
		<教育工学部> 校内サーバーの整備及びデータの整理を進めて、必要な情報を利用しやすい環境づくりを行う。  ICT機器の効果的な使い方を周知して学校全体のICT利用を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい校内ホームページを整備して、必要なデータを利用しやすい校内サーバーへの更新を継続的に進める。</li> <li>・Teams やスクールエンジンを使った情報共有を促進し、効率的に働ける環境を整備する。</li> <li>・生徒用タブレット端末などのICT機器の授業での効果的な使い方を共有する。</li> </ul>

		<p>&lt;教育支援部&gt; 校務部会内での「校内支援(情報交換)」を廃止し、Teams 上で情報交換、共通理解を行う。</p> <p>Teams を活用し、業務の情報交換や情報共有をする。 各々の働き方や立場に合わせて担当者を配置できるよう、業務分担の見直しを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒情報の共有、意見交換などをタイムリーに行う。</li> <li>・Teams 上に記載されたものをまとめて、校務部会記録とともに回覧する。</li> <li>・個人情報をも多く扱うことになるため、扱う情報、セキュリティ対策に留意する。</li> <li>・業務を担当者だけで抱えず、意見交換をタイムリーに行う。</li> <li>・活動内容、業務内容を細分化し、それぞれに担当者を設ける。</li> <li>・地域支援を担当する教員と校内支援を担当する教員に分け、それぞれの業務の負担が少なくなるようにする。</li> </ul>
<p>学校関係者評価を実施する主な評価項目</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきジョイの実現に向けた、主体的・対話的で深い学びの授業づくりを行う。</li> <li>・正確な情報収集と発信、一人一人が自分事として考えた安全で安心な環境づくりと支援を行う。</li> <li>・会議や委員会の質を高め、無駄をなくし職員の働き方の改善につなげる。</li> </ul>